

2026年JAF地方ジムカーナ／ダートトライアル／サーキットトライアル選手権 クラス区分等について

2026年日本ジムカーナ／ダートトライアル選手権規定および2026年日本サーキットトライアル選手権規定に基づき、2026年JAF地方ジムカーナ／ダートトライアル／サーキットトライアル選手権クラス区分等について、以下のとおりお知らせします。

1 地方ジムカーナ選手権

1) 北海道ジムカーナ選手権：

【クラス区分】

参加車両	クラス	参加車両
PN、P、AE 車両	H-PN1	気筒容積を制限しない前輪駆動（FF）および後輪駆動（FR）のAT車両を含むFIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2007年1月1日以降のPN車両及び全てのP、AE車両※1
	H-PN2	気筒容積および駆動方式を制限しないH-PN1以外のAT車両を含むFIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2007年1月1日以降のPN車両※1
N、SA、B、 SAX、SC車両	H-BC1	2輪駆動のAT車を含むN・SA・B・SAX・SC車両※2
	H-BC2	4輪駆動のAT車を含むN・SA・B・SAX・SC車両※2

タイヤ規定：

※1の記号のあるクラスは当該年全日本ジムカーナ／ダートトライアル選手権統一規則に準じる。

※2の記号のあるクラスは当該年全日本ジムカーナ／ダートトライアル選手権統一規則に準じる。

2) 東北ジムカーナ選手権：

【部門】(PN部門) (B・SA・SAX・SC部門)

【クラス区分】

クラス	参加車両
BTW-2 クラス	UTQG の TREAD WEAR が 280 以上のタイヤを使用する 2 輪駆動の B・SA・SAX 車両※1
BTW-4 クラス	UTQG の TREAD WEAR が 280 以上のタイヤを使用する 4 輪駆動の B・SA・SAX 車両※1
PN-AT クラス	自動変速機付きの PN 車両※2※3
PN1 クラス	気筒容積 1600cc 未満で前輪駆動の PN 車両※2※3
PN2 クラス	気筒容積 1500cc 未満で後輪駆動の PN 車両※2※3
PN3・4 クラス	気筒容積 1500cc 以上で 2 輪駆動の PN 車両※2※3
PN5 クラス	上記 PN クラスに該当しない PN 車両※2※3
BSC-2 クラス	排気量制限なしの 2 輪駆動の B・SA・SAX・SC 車両
BSC-4 クラス	排気量制限なしの 4 輪駆動の B・SA・SAX・SC 車両

※1の記号のあるクラスは、以下のタイヤ規制を適用する。

UTQGのTREAD WEARが280以上(タイヤの刻印にて確認)のタイヤ。

※2の記号のあるクラスは、2025年度全日本ジムカーナ／ダートトライアル選手権統一規則第2章第2条2)を適用し、UTQGのTREAD WEAR 200以上(タイヤの刻印にて確認)のタイヤも適用とする。

※3の記号のあるクラスは、FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2007年1月1日以降の車両。

3) 関東ジムカーナ選手権 :

【クラス区分】

クラス	車両	気筒容積・駆動方式等
PN/AE1	スピード P/PN/AE 車両	電気式駐車ブレーキが装着された2輪駆動(FF/FR)車両※1
PN/AE2		PN/AE1に該当しない、電気式駐車ブレーキが装着された車両※1
PNAT		自動変速機付きの2輪駆動(FF/FR)の車両※1
PN1		気筒容積1500cc未満で前輪駆動の車両。(FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2018年1月1日以降の車両)※1
PN2		気筒容積1500cc未満で後輪駆動の車両。(FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2010年1月1日以降の車両)※1
PN3	スピード PN 車両	気筒容積1500cc以上2000cc未満で2輪駆動(FF/FR)の車両。(FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2010年1月1日以降の車両)※1
PN4		気筒容積2000cc以上で2輪駆動(FF/FR)の車両。(FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2010年1月1日以降の車両)※1
PN5		PN1～PN4に該当しない車両。(FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2010年1月1日以降の車両)※1
PN6		気筒容積2000cc以下の2輪駆動(FF/FR)車両※2
PN7		気筒容積2000ccを超える2輪駆動(FF/FR)車両※2
PN8		気筒容積区分無しの4輪駆動車両※2
B・SC1	スピード B/SC 車両	気筒容積区分無しの前輪駆動車※1
B・SC2		気筒容積区分無しの後輪駆動車※1
D	スピード D/B/SC 車両	気筒容積、駆動方式制限無し(区分無し)※3

※1の記号があるクラスは以下の①または②に適合し、尚且つ③に適合すること。(参加者がカタログ等で証明する事。)

①2026年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2章第2条2)に適合するタイヤ。

②1銘柄で単一コンパウンドかつ国内販売が30サイズ以上のラインナップを有する事、またはUTQGのTREAD WEARが200以上(タイヤの刻印にて確認)のタイヤ。
(複数のTREAD WEARがあるタイヤは同一パターンでも違うコンパウンドと解釈します。)

③タイヤの溝深さはトレッドウェインジケータ(スリップサイン)が出るまで維持されていること。

※2の記号があるクラスは、UTQGのTREAD WEARが280以上(タイヤの刻印にて確認)のタイヤのみ使用可。

※3の記号があるクラスは、スリックタイヤ使用禁止。

※全てのクラスで、2026年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第3章第17条6)を適用する。

4) 中部ジムカーナ選手権 :

【クラス区分】

クラス	参加車両
AT	オートマチック限定免許で運転できる P・PN・AE・B 車両※2
PN1	気筒容積 1 5 0 0 c c 未満の前輪駆動の PN 車両 (FIA/JAF 公認発行年または JAF 登録年が 2018 年 1 月 1 日以降の車両) ※2
PN2	気筒容積 1 6 0 0 c c 以下の 2 輪駆動 (FF・FR) の PN 車両※2
PN3	車両型式 ZN6 (トヨタ 86) および ZC6 (スバル BRZ) の PN 車両に限る※2
PN4	気筒容積 1 6 0 0 c c を超える 2 輪駆動 (FF・FR) の PN 車両※2
PN5	PN1～PN4 に該当しない PN 車両※2
B・SC1	気筒容積 1 6 0 0 c c 以下の 2 輪駆動の B・SC 車両※1／※3
B・SC2	気筒容積 1 6 0 0 c c を超える前輪駆動の B・SC 車両※1／※3
B・SC3	気筒容積 1 6 0 0 c c を超える後輪駆動の B・SC 車両※1／※3
B・SC4	4 輪駆動の B・SC 車両※1／※3
D	クラス区分なしの D 車両

※1 の記号のあるクラスは、当該年全日本ジムカーナ選手権統一規則第 2 章第 2 条 参加車両を適用する。
(タイヤ規制等)

※2 の記号のあるクラスは、下記タイヤの使用が認められない。

タイヤメーカー	ブランド	使用が認められないタイヤ銘柄
住友ゴム工業(株)	DIREZZA	02G/03G/β 02/β 03/β 04/β 05/β 10
(株)ブリヂストン	POTENZA	55S/11S/05D/06D/07D/08D/09D/12D
TOYO TIRE(株)	PROXES	888/888R/RR
横浜ゴム(株)	ADVAN	048/050/08B
Hankook Tire Co., Ltd	Ventus	Z214/TD
Kumho Tire Co., Ltd	Ecsta	V710/V700/V70A
GOOD YEAR	EAGLE RS-Sport	V-SPEC/R2-SPEC/R3-SPEC/R4-SPEC
製造者問わず	競技用タイヤ・セミレーシングタイヤと判断されるタイヤ ※競技用タイヤ=レース・ラリー・ダートトライアル・ジムカーナ用タイヤ 86/BRZ Race 指定タイヤを含む	

※3 の記号のあるクラスに参加する B 車両のタイヤサイズは競技会開催場所内に限り自由とする。B・SC 車両のタイヤは、公道走行の許されている一般市販タイヤとし、競技専用タイヤは使用しないこと。

※本規定に疑義が生じた場合、JMR C 中部ジムカーナ部会の決定を最終とする。

5) 近畿ジムカーナ選手権 :

【クラス区分】

クラス	駆動方式	参加車両	適応タイヤ
2PD クラス	フリー	オートマチック限定免許でも運転できる2ペダルのP・PN・AE・B車両	
BR1 クラス	右記	1150cc未満の後輪駆動のB車両 1500cc未満の前輪駆動および4輪駆動のB車両	
BR2 クラス	2輪駆動	2輪駆動のB車両	
PN1 クラス	右記	2012年から2016年にJAF登録された2輪駆動(F F /F R)のPN車両 2017年以降にJAF登録された1500cc未満の前輪駆動のPN車両	※1 ラジアルタイヤ
PN2 クラス	2輪駆動	1600cc未満の2輪駆動(FF・FR)のPN車両	
PN3 クラス	2輪駆動	1600cc以上の2輪駆動(FF・FR)のPN車両	
BPN クラス	フリー	BR・PN各クラスの車両基準に該当しないB車両・PN車両	
L クラス	フリー	B・SC車両(女性運転者に限る)	
BC1 クラス	前輪駆動	前輪駆動のB・SC車両	
BC2 クラス	後輪駆動	後輪駆動のB・SC車両	
BC3 クラス	4輪駆動	4輪駆動のB・SC車両	

・同一車両による重複参加(ダブルエントリー)は2名まで認められる。

重複参加の後走に許可される作業は同一クラスに限る。他クラスとの重複参加はこの限りではない。

- ・使用可能タイヤは基本的に、当該年度の全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2条2) (2-1以外) 規定に準ずる。
- ・保安基準許容範囲を超える車体寸法の変更をした場合、自動車検査証の記載を変更し必要な書類を持って、いつでも証明できるようにすること。なお、構造等変更検査を実施した場合も同様とする。
- ・(※1)を記載しているBR各クラスと2PDクラス・PN各クラスは下表に記載するタイヤの使用を禁止する。

タイヤメーカー	ブランド	使用が禁止されるタイヤ
住友ゴム工業(株)	DIREZZA	<u>MOTOR SPORT(ON ROAD・DIRT&RALLY・RACING・VINTAGE)タイヤおよびSPORTタイヤ銘柄のうち、β02、β10</u>
(株)ブリヂストン	POTENZA	POTENZA RE-に続き、数字と特定の記号(S、D)の組合せで製品名が構成されているタイヤ(例:RE-11S・12D)
TOYO TIRE(株)	PROXES	製品名にR888を含むタイヤ(例:R888・R888DRIFT)
横浜ゴム(株)	ADVAN	A048/A050/A08B
NANKANG RUBBER TIRE	<u>Sportnex</u>	<u>CR-S ※TW=200標記ですがSタイヤ相当以上のグリップと判断</u>
上記以外のメーカー (海外含む)		ラリータイヤ、レース専用タイヤ、セミレーシング(通称S)タイヤ、縦溝のみのタイヤ、86/BRZレース等対応のカタログ上で <u>1サイズのみのタイヤ(β05・β06・09D等)</u> は使用不可。 ただし、タイヤサイドにUTQG(TREAD WEAR)200以上の数字の記載があり、競技当日の車検で確認出来れば使用可とする。 <u>上記に当てはまらない新製品・明らかに標記よりグリップ・摩耗が激しいタイヤに関しては判断基準に従いシーズン途中であっても猶予期間を待たずに使用を禁止する場合がある。</u> 海外メーカー含め新作タイヤは繽々と出てきますので、全ての銘柄を記載できないので上記判断となります。

補足 :

近畿シリーズで(※1)に該当する タイヤで使用可能な主なタイヤ	DL: β 11、Z3 BS:RE71RS、RE004 YH:A052、AD08&09 TOYO:R1R シバタイヤ:(※TW200以上)等
チャンピオンシリーズの「Sタイヤも可」の	上記ラジアルタイヤおよび、DIREZZA 03G/ β 10、POTENZA

クラスで使用可能な主なタイヤ	RE11S/12D、ADVAN A050/A08B、PROXES R888R/DRIFT 等のSタイヤ
----------------	---

6) 中国ジムカーナ選手権 :

【クラス区分】

クラス名称	クラス区分	タイヤ
T28 クラス	UTQG 表示のトレッドウェア 280 以上のタイヤを装着した気筒容積区分なしの PN・AE・SA・B 車両	
RC クラス	軽自動車の PN・AE・B 車両および気筒容積 1500cc 未満の 2 輪駆動 (FF) の PN・B 車両	
R2 クラス	気筒容積 1500cc 以上の 2 輪駆動 (FF) の PN・B 車両および 気筒容積区分なしの 2 輪駆動 (FF) の AE・SA・SAX・SC 車両および 気筒容積区分なしの 2 輪駆動 (FR、MR) の PN・AE・SA・SAX・B・SC 車両	★
R4 クラス	気筒容積区分なしの 4 輪駆動の PN・AE・SA・SAX・B・SC 車両	
PNA クラス	気筒容積区分なしの自動変速機付の P・PN・AE・B 車両および EPB (電動パーキングブレーキ) 装備の P・PN・AE・B 車両	
PN2 クラス	気筒容積 1500cc 未満で 2 輪駆動 (FF・FR) の PN 車両 (前輪駆動は FIA/JAF 公認発行年または JAF 登録年が 2018 年 1 月 1 日以降の車両、後輪駆動は FIA/JAF 公認発行年または JAF 登録年が 2009 年 1 月 1 日以降の車両)	☆
PN3 クラス	気筒容積 1500cc 以上で 2 輪駆動 (FF・FR) の PN 車両 (FIA/JAF 公認発行年または JAF 登録年が 2009 年 1 月 1 日以降の車両)	
BC2 クラス	気筒容積区分なしの 2 輪駆動 (FF/FR) の B・SC 車両	
BC3 クラス	気筒容積区分なしの 4 輪駆動の B・SC 車両、および PN2 クラス、PN3 クラスに該当しない PN 車両 (FIA/JAF 公認発行年または JAF 登録年が 2009 年 1 月 1 日以降の車両)	

★の記号があるクラスが交換して使用できるタイヤは JMR C 中国公式 Web サイトで指定されているタイヤでなければならない。ただし、指定タイヤは年度途中でも部会を経て適時変更される。指定タイヤを使用せず出走の場合、各ヒートのタイムに 5 秒が加算される。

☆の記号があるクラスは当該年の全日本ジムカーナ／ダートトライアル選手権統一規則第 2 章第 2 条 2) に適合したタイヤ、またはヨコハマタイヤ ADVAN A052 でなくてはならない。

7) 四国ジムカーナ選手権 :

【クラス区分】

クラス		参加車両
BSC	1	・2輪駆動のB・N・SC・AE車両
	2	・4輪駆動のB・N・SC・AE車両 ・クラス区分無しのD車両
PN	・2輪駆動のPN車両	
R	1	・気筒容積1150cc以下の後輪駆動のB車両 ・気筒容積1500cc以下の前輪駆動および4輪駆動のB車両
	2	・気筒容積1500ccを超える前輪駆動のB車両
	3	・気筒容積1150ccを超える後輪駆動のB車両
	4	・気筒容積1500ccを超える4輪駆動のB車両および4輪駆動のPN車両

【各クラスのタイヤ制限】

- ・BSC クラスについては、当該年の JAF 国内競技車両規則第3編スピード車両規定第7章スピードB車両規定を適用する。
- ・PN クラスについては、当該年の全日本ジムカーナ／ダートトライアル選手権統一規則第2章第2条2) を適用する。ただし、横浜タイヤ A052 は使用可能とする。
- ・R クラスについては、以下のタイヤ規制を適用する。
 - 1・2・3 クラスは表1記載のタイヤを使用禁止とする。
 - 4 クラスは、以下の通りとする。
 - ・表1のタイヤを使用禁止とする。
 - ・PN 車両は、当該年の全日本ジムカーナ／ダートトライアル選手権統一規則第2章第2条2) を適用する。ただし、横浜タイヤ A052 は使用可能とする。
 - 新たに販売が開始、またはモデルチェンジされた表1中の※1、※2に該当しないタイヤは、基本的に使用可能とする。その性能確認により、猶予期間なしに使用不可と判断する場合がある。
 - 新たに使用不可と判断したタイヤは J M R C 四国にて適時発表・告知する。

表1	住友ゴム工業(株)	DIREZZA	02G・03G・β02・β03・β04・β05・β06・β10・94R・201R・301R
	(株)ブリヂストン	POTENZA	55S・11S・05D・06D・07D・08D・09D・10D・12Dtype-A
	TOYO TIRE(株)	PROXES	881・888・888R
	横浜ゴム(株)	ADVAN	048・050・A08B SPEC-G
	日本グッドイヤー(株)	EAGLE／RS-SPORT	V-SPEC・R2-SPEC・R3-SPEC・R4-SPEC
	Hankook	Ventus	Z214・TD
	Kumho	Ecsta	V710・V70A・V700
	NANKANG	Sport nex	AR-1・NS-2R
	※1 海外タイヤ製造者製を含む通称Sタイヤと判断される物、および縦溝のみのタイヤ。		
	※2 製造者問わず、セミレーシングタイヤと判断されるタイヤ、ラリー・ダートトライアル・ジムカーナ・レース専用タイヤ		

8) 九州ジムカーナ選手権 :

【クラス区分】

クラス 名称	車両区分	JAF 登録年 制限	車両区分	タイヤ区分 (制限)	代表車種
AT	AT 自動車		B	*九州ラジアル限定	全ての AT 自動車
B1	軽自動車		B/SC/SAX	*九州ラジアル限定	全ての軽自動車
B2	全ての前輪駆動車		B/SC/SAX	*九州ラジアル限定	シビック・インテグラ
B3	全ての後輪駆動車		B/SC/SAX	*九州ラジアル限定	MR2・RX-7・NSX・エキシージ
B4+	気筒容積区分 無し・駆動方式区分無し		B/SC/SAX	*九州ラジアル限定	全車種
PN1	気筒容積 1500cc 以下 の後輪駆動		AE/P/PN	2025 全日本 PN タイヤ規定	ND ロードスター・S660
PN2	気筒容積 1500cc を 超え 2000cc 以下 の FR (2シーター 除く)	2012年1月 1日以降	AE/P/PN	2025 全日本 PN タイヤ規定	旧 86・旧 BRZ
PN3	気筒容積 1500cc を 超える 2輪駆動 (FR/FF)		AE/P/PN	2025 全日本 PN タイヤ規定	新旧 86・新旧 BRZ・ ロードスターRF・ 124 スパイダー・ 33 スイフト・Z34
PN4	PN1・PN2・ PN3 に該当 しない車両		AE/P/PN	2025 全日本 PN タイヤ規定	GR ヤリス・ランサー・ インプレッサ・ エキシージ

*九州ラジアル制限規定 (使用禁止タイヤ)

海外タイヤ製造者製を含む通称 S タイヤおよび縦溝のみのタイヤは使用不可とする。

ブリヂストン : 520S/540S/55S/11S/11A2.0・4.0/05D/06D/07D/12D/12D-A

ダンロップ : 93J/98J/01J/02G/03G/Z2-β・α/β-10/β-03/β-04

ヨコハマ : 021/032/038/039/048/A050/A08B

TOYO : FM9R/08R/881/888/R888/R888R

グッドイヤー : RSsport-86S/R2/R3/R4/VspecRS-sport/SspecRS-sport/RS-sportS-spec

ファルケン : アゼニス RT615K

ただし、これに準ずると判断されたタイヤは使用不可になる場合があります。

2 地方ダートトライアル選手権

1) 北海道ダートトライアル選手権 :

【クラス区分】

クラス	参加車両
FF-1 クラス	気筒容積1,600cc以下の2輪駆動のP・PN・N・B・SA・SAX・SC、および排気量区分なしの2輪駆動のAE車両 (※FF-1 クラスに参加する車両の年式制限を行う(AE車両は除く)。その年式は、2000年(平成12年)10月以降に初年度登録された車両であること。)
FF-2/4WD-1 クラス	FF-1 クラスに該当しない2輪駆動のP・PN・N・B・SA・SAX・SC車両、および気筒容積1,600cc以下の4輪駆動のP・PN・N・B・SA・SAX・SC車両、および排気量区分なしの4輪駆動のAE車両
RWD クラス	排気量区分なしの後輪駆動のP・PN・N・B・SA・SAX・SC車両
4WD-2 クラス	気筒容積1,600ccを超える4輪駆動のP・PN・N・B・SA・SAX・SC車両
D クラス	クラス区分なしのD車両

2) 東北ダートトライアル選手権 :

【参加車両】P車両・PN車両・AE車両・N車両・SA車両・SAX車両・SC車両・B車両・D車両

【クラス区分】

クラス	参加車両
FR クラス	全ての後輪駆動(FR)の車両
2WD-1 クラス	排気量1500cc以下の2輪駆動の車両、もしくは排気量1600cc以下の2輪駆動のPN車両
2WD-2 クラス	排気量1500ccを超える2輪駆動の車両
4WD-1 クラス	排気量2800cc以下の4輪駆動の車両
4WD-2 クラス	排気量2800ccを超える4輪駆動の車両

※排気量は過給機付の場合1.7を乗じた値とする。

3) 関東ダートトライアル選手権 :

【競技車両】PN・N・AE・B・SA・SAX・SC・D とする。

【クラス区分】

クラス	参加車両
N1500 & PN1	気筒容積1,500cc以下の2輪駆動のN車両で排ガス規制平成12年規制以降の適合車両、および気筒容積1,600cc以下の2輪駆動のPN車両とし、AE車両を含む。
N1 & PN2	2輪駆動のN車両および気筒容積1,600cc以下の4輪駆動のN車両とする。気筒容積1,600ccを超える2輪駆動で前輪駆動のPN車両とする。
PN3	気筒容積1,600ccを超える後輪駆動のPN車両とする。
N2	気筒容積1,600ccを超える4輪駆動のN車両とする。
S1	2輪駆動のSA・SAX・SC・B・D車両とする。
S2	4輪駆動のSA・SAX・SC・B車両とする。
D	4輪駆動のD車両とする。

4) 中部ダートトライアル選手権:

【クラス区分】

クラス	参加車両
2P	クラッチペダルを有さない2輪駆動のAE・PN・N・SA・SAX車両。ただしディファレンシャルの変更、改造および加工は許されない。
RWD	排気量によるクラス区分を行わず、後輪駆動のPN・N・B・SA・SAX・SC・D車両
PN1・S1500	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のB車両（車両規定はスーパー1500車両規定で運用する）、気筒容積1600cc以下の2輪駆動のPN車両、全てのAE車両 ※1
N	排気量によるクラス区分を行わず、4輪駆動のN車両
S1	排気量によるクラス区分を行わず、2輪駆動のPN・N・SA・SAX・B・SC・D車両
S2	排気量によるクラス区分を行わず、4輪駆動のSA・SAX・B・SC・D車両

※1の記号のあるクラスの内、B車両は以下の制限が加えられる。

- ・参加が許される車両は、気筒容積1500cc以下の自然吸気エンジンの車両および気筒容積1500cc以下の自然吸気エンジンを搭載したハイブリッド車両とする。
- ・駆動方式は、前輪2輪または後輪2輪のいずれかを駆動する2輪駆動車とする。
- ・当該自動車製造者発行の量産車カタログの同一車両型式に記載される車両本体価格を基準とし、250万円以下の車両とする。
- ・最終減速比の変更は、同一車両型式に設定されている純正部品およびメーカーオプションで、改造および加工の必要なく取り付けられるものであれば、ボルトオンを条件に許される。
- ・フライホイールの変更は許されない。
- ・エアコンは装着されていなければならず、その機能を維持していること。
- ・自動車検査証の初度登録年月が平成12年1月以降の車両であること。

5) 近畿ダートトライアル選手権:

【参加車両】AE車両・PN車両・N車両・SA車両・SAX車両・SC車両・D車両・B車両

【クラス区分】

クラス	参加車両
RWD クラス	排気量区分なしの後輪駆動のPN・N・SA・SAX・B・SC車両
AE・PN クラス	排気量区分なしの全てのAE車両および1600cc以下の2輪駆動のPN車両
S1 クラス	排気量区分なしの2輪駆動のPN・N・SA・SAX・SC車両および1600cc以下の4輪駆動のN・SA・SAX・SC車両
S2 クラス	排気量区分なしの4輪駆動のN・SA・SAX・SC車両
D クラス	排気区分なしの全てのD車両

6) 中国ダートトライアル選手権 :

【クラス区分】

クラス	参加車両
AT	クラッチペダルを有しない2輪駆動のAE・PN・N・SA・SAX車両 ただし、デファレンシャルギアの変更は禁止する
PN1+	気筒容積1600cc以下の2輪駆動のPN車両
NPSA	2輪駆動のN車両、および気筒容量1500cc未満の2輪駆動で2005年式以降のAE・PN・N・SA・SAX車両（2輪駆動のラリー車両規定のRJ車両含む）
SA1	2輪駆動のSAおよびSAX車両。
RWD	排気量区分無し、後輪駆動のPN・N・SA・SAX・SC・D車両
NS1	4輪駆動のN・SA・SAX車両
SCD1	2輪駆動のSCおよびD車両
SCD2	4輪駆動のSCおよびD車両

7) 四国ダートトライアル選手権 :

【クラス区分】

クラス	参加車両
PN+	2輪駆動のPN車両 2輪駆動の気筒容積1500cc以下のSA車両、SAX車両、B車両（ラリー車両、RJ車両を含む）
N	N車両
SD1	2輪駆動のSA車両、SAX車両、SC車両およびD車両 気筒容積1600cc以下の4輪駆動のSA車両、SAX車両、SC車両およびD車両
SD2	気筒容積1600ccを超える4輪駆動のSA車両、SAX車両、SC車両およびD車両
RWD	後輪駆動のPN・N・SA・SAX・SC・D車両

8) 九州ダートトライアル選手権 :

【クラス区分】

クラス	参加車両
AT1	2ペダルオートマ車両の2輪駆動車のAE・PN・N・SA・SAX・B車両
AT2	2ペダルオートマ車両の4輪駆動車のAE・PN・N・SA・SAX・B車両
PN1+	1586cc以下の2輪駆動（FF）のAE・PN・N・SA・SAX車両
N2	1600ccを超える4輪駆動のN車両
RWD	後輪駆動のPN・N・SA・SAX・B・SC・D車両
S1	1586ccを超える2輪駆動（FF）のSA・SAX車両および排気量区分無しの2輪駆動（FF）のB・SC・D車両
S2	4輪駆動のSA・SAX車両
C	排気量および駆動方式区分無しのSAX・B・SC車両
D	排気量区分無し4輪駆動のD車両

3. 地方サーキットトライアル選手権

1) 岡山国際サーキットトライアル選手権

【クラス区分】

クラス	参加車両	参加車両
CT1	排気量制限無し・駆動制限無しの B 車両	外国産車両、国産車両、当初とは異なる型式のエンジンに載せ替えた車両
CT2	排気量制限無し・駆動制限無しの国産車メーカーの B 車両	スープラ (B48)、フェアレディ Z (RZ34)、ヴィッツ GRMN、NSX、シビックタイプ R (FK2/FK8/FL5)、RX-7、マツダスピードアクセラ、シルビア
CT3	自然吸気、排気量制限無しの 2 輪駆動の国産車メーカーの B 車両	シビックタイプ R (EK9/EP3/FD2/FN2)、インテグラタイプ R、S2000、RX-8、フェアレディ Z (Z34/Z33)
CT4	気筒容積 2 4 0 0 c c 以下の 2 輪駆動の国産車メーカーの B 車両	86 (ZN6)、GR86 (ZN8)、BRZ (ZC6/ZD8)、スイフトスポーツ (ZC33S)、ロードスター RF (NDERC)、ロードスター (NCEC)
CT5	気筒容積 1 6 0 0 c c 以下の 2 輪駆動の国産車メーカーの B 車両	ノート NISMO S (E12 改)、スイフトスポーツ (ZC31S)、ロードスター (NA6CE/NB6C)
CT6	気筒容積 1 5 0 0 c c 以下の国産車メーカーの B 車両	ロードスター (ND5RC)、ヤリス、MAZDA2、デミオ、カプチーノ
CT7	気筒容積 1 5 0 0 c c 以下の 2 輪駆動の PN 車両のうち、FIA/JAF 公認発行年または JAF 登録年が 2 0 1 2 年 1 月 1 日以降の限定販売されていないカタログモデルの車両	GR ヤリス (MXPA12)、コペン GR スポーツ、ロードスター (ND5RC)、MAZDA2 15MB (DJLFS)、マーチ NISMO S (K13 改)、フィット RS (GK5)、S660、N-ONE
CT8	国産車メーカーの 5 ナンバーサイズの AE 車両 (ハイブリッド車両もしくは EV 車両)	ヤリス、アクア、フィット e:HEV、ノート e POWER、スイフト
CT9	国産車メーカーの SUV タイプの AE 車両 (ハイブリッド車両もしくは EV 車両)	C-HR GRSOFT、ジュープ NISMO RS、フォレスター STI Sport、エクリプスクロス PHEV

※過給装置付エンジンはもとの排気量の 1.7 倍のクラスとみなし、ロータリーエンジンはもとの排気量の 1.5 倍のクラスとみなす。

※性能調整として、当初とは異なる型式のエンジンに載せ替えた車両は CT1、NSX は CT2 以上、シビックタイプ R (EK9/EP3/FD2/FN2)、インテグラタイプ R、S2000、RX-8 は CT3 以上のクラスにのみ参加を認める。

【使用可能タイヤ】

純正装着以外で使用できるタイヤは、4 本とも同銘柄 (パターン) で、2026 年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第 2 条 2) に示す基準を満たす、もしくはそれ相応の性能基準とオーガナイザーが判断した銘柄とする。

※主に使用可能なタイヤ銘柄

メーカー	ブランド	主な使用可能なタイヤ名称
ブリヂストン	POTENZA	RE-71RS/S007A/Adrenalin RE004
横浜ゴム	ADVAN	NEOVA AD09/FLEVA V701
住友ゴム工業	DIREZZA	β 11/ZIII/DZ102
日本グッドイヤー	EAGLE	F1 SUPERSPORT/RS SPORT S-SPEC
トヨータイヤ	PROXES	R1R/Sports2
日本ミシュランタイヤ	PILOT	SPORT 5/SPORT 4S

ピレリ	P ZERO	CORSA/CORSA SYSTEM
クムホ	ECSTA	V730/V720/V700
ナンカン	Sportsnex	CR-S/NS-25/NS-20
ハシコック	Ventus	Z232
柴田自動車	SHIBATIRE	R23/R31 (200S/200R/280/280R)

【車両最低重量】

参加車両の最低重量は下記の通りとする。

①CT1~6 クラスは、当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量-50kgとする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量-50kgとする。

②CT7~9 クラスは、参加車両の最低重量は当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量の内、最小値とする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量の最小値とする。

2) 菅生サーキットトライアル選手権

【クラス区分】

クラス	参加車両
CT1	排気量制限無し・駆動制限無しのB車両
CT2	排気量制限無し・駆動制限なしの国産車メーカーのB車両
CT3	自然吸気、排気量制限無しの2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT4	気筒容積2400cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT5	気筒容積1600cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT6	気筒容積1500cc以下の国産車メーカーのB車両
CT7	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のPN車両のうち、FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2012年1月1日以降の限定販売されていないカタログモデルの車両
CT8	国産車メーカーの5ナンバーサイズのAE車両(ハイブリッド車両もしくはEV車両)
CT9	国産車メーカーのSUVタイプのAE車両(ハイブリッドもしくはEV車両)

※過給装置付エンジンはもとの排気量の1.7倍のクラスとみなし、ロータリーエンジンはもとの排気量の1.5倍のクラスとみなす。また性能調整として、当初とは異なる型式のエンジンに載せ替えた車両はCT1、NSXはCT2以上、シビックタイプR(EK9/EP3/FD2/FN2)、インテグラタイプR、S2000、RX-8はCT3以上のクラスにのみ参加を認める。

【使用可能タイヤ】

純正装着以外で使用できるタイヤは、4本とも同銘柄(パターン)で、2026年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2条2)に示す基準を満たす、もしくはそれ相応の性能基準とオーガナイザーが判断した銘柄とする。

※主に使用可能なタイヤ銘柄

メーカー	ブランド	主な使用可能なタイヤ名称
ブリヂストン	POTENZA	RE-71RS/S007A/Adrenalin RE005
横浜ゴム	ADVAN	NEOVA AD09/Sport V107/FLEVA V701
住友ゴム工業	DIREZZA	β11/ZIII/SPORTS MAXX 060+
日本グッドイヤー	EAGLE	F1 SUPERSPORT/RS SPORT S-SPEC
トーヨータイヤ	PROXES	R1R/Sports2
日本ミシュランタイヤ	PILOT	SPORT 5/SPORT 4S
ピレリ	P ZERO	CORSA/CORSA SYSTEM
クムホ	ECSTA	V730/V720/V700
ナンカン	Sportsnex	CR-S/NS-25/NS-20
ハンコック	Ventus	Z232
柴田自動車	SHIBATIRE	R23/R31 (200S/200R/280/280R)

【車両最低重量】

参加車両の最低重量は下記の通りとする。

- ①CT1~6 クラスは、当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量-50kgとする。ただし、同一車両型式に過給器付(ターボチャージャー、スーパーチャージャー等)と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量-50kgとする。
- ②CT7~9 クラス参加車両の最低重量は当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量の内、最小値とする。ただし、同一車両型式に過給器付(ターボチャージャー、スーパーチャージャー等)と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量の最小値とする。

3) 筑波サーキットトライアル選手権

【クラス区分】

クラス	排気量と駆動方式
CT1	排気量制限無し・駆動制限無しのB車両
CT2	排気量制限無し・駆動制限無しの国産車メーカーのB車両
CT3	自然吸気、排気量制限無しの2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT4	気筒容積2400cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT5	気筒容積1600cc以下の2輪駆動の国産車メーカーのB車両
CT6	気筒容積1500cc以下の国産車メーカーのB車両
CT7	気筒容積1500cc以下の2輪駆動のPN車両のうち、FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2012年1月1日以降の限定販売されていないカタログモデルの車両
CT8	国産車メーカーの5ナンバーサイズのAE車両（ハイブリッド車両もしくはEV車両）
CT9	国産車メーカーのSUVタイプのAE車両（ハイブリッド車両もしくはEV車両）

※過給装置付エンジンはもとの排気量の1.7倍のクラスとみなし、ロータリーエンジンはもとの排気量の1.5倍のクラスとみなす。

※性能調整として、当初とは異なる型式のエンジンに載せ替えた車両はCT1、NSXはCT2以上、シビックタイプR（EK9/EP3/FD2/FN2）、インテグラタイプR、S2000、RX-8はCT3クラスにのみ参加を認められる。

【使用可能タイヤ】

純正装着以外で使用できるタイヤは、4本とも同銘柄（パターン）で、2026年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2条2）に示す基準を満たす、もしくはそれ相応の性能基準とオガナイザーが判断した銘柄とする。

※主に使用可能なタイヤ銘柄

メーカー	ブランド	主な使用可能なタイヤ名称
ブリヂストン	POTENZA	RE-71RZ/S007A/Adrenalin RE005
横浜ゴム	ADVAN	NEOVA AD09/Sport V107/FLEVA V701
住友ゴム工業	DIREZZA	β11/ZIII/SP SPORT MAXX 060+
日本グッドイヤー	EAGLE	F1 SUPERSPORT/RS SPORT S-SPEC
トヨータイヤ	PROXES	R1R/Sports2
日本ミシュランタイヤ	PILOT	SPORT 5/SPORT 4S
ピレリ	P ZERO	CORSA/CORSA SYSTEM
クムホ	ECSTA	V730/V720/V700
ナンカン	Sportsnex	CR-S/NS-25/NS20
ハンコック	Ventus	Z232
柴田自動車	SHIBATIRE	R23/R31 (200S/200R/280/280R)

【車両最低重量】

参加車両の最低重量は下記の通りとする。

①CT1～6 クラスは、当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量-50kgとする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量-50kgとする。

②CT7～9 クラスは、参加車両の最低重量は当該自動車製造者発行のカタログに記載された主要諸元一覧表の同一車両型式に認定されている車両重量の内、最小値とする。ただし、同一車両型式に過給器付（ターボチャージャー、スーパーチャージャー等）と過給器無の両仕様が存在する場合は、各々に設定されている車両重量の最小値とする。

以上